

アジャタ

運動会の定番である「玉入れ」をスピード感のあふれる競技スポーツに進化させた！
これがニュースポーツ「アジャタ」です。

1990年に北海道川上郡和寒町で創始されたものであり、ルールを制定した全日本玉入れ協会（**All Japan Tamaire Association**）の頭文字が競技の名称になっています。
なお、アジャタバスケットの高さ4.12mは、和寒町の最低気温記録が -41.2°C であることから、また、バスケットの直径と深さ44cmは、和寒町が北緯44度に位置することにちなんでいます。

通常の玉入れと違う点は、100個の玉をいかに速くかごの中に入れられるかを競う点です。

全日本玉入れ協会 競技規則(抜粋)

☆ コート

1. コートはアジャタバスケットを中心とした直径6mの円とする。
2. コート間は競技者の安全性とアジャタボールの混在を考慮して2m以上開けることが望ましい。

☆ 用具

1. アジャタバスケット【高さ：4m12cm 直径：44cm 深さ：44cm】
2. アジャタボール【重さ 80g \pm 2g】
3. アンカーボール【重さ 250g \pm 5g】
4. ジュニア用【高さ 3m50cm（高学年用） 高さ 2m80cm（低学年用）】

☆ 選手

1. 競技に参加する1チームの選手は原則として6名とする。
ジュニアチームは原則として1チームの選手は10名とする。
2. 原則として一般成人とジュニア（小学生以下）は混在しない。
3. 1チーム内の選手の性別は問わない。

☆ スタート

1. アジャタボールは競技開始前、自由な形に積むことができる。
2. スタート時、選手は全員サークル外に後ろ向きに立つ。（サークルラインを踏まないよう注意する）
3. 競技開始の号砲前にサークル内に入るとフライングとなる。
フライングは再スタートとする。フライングは2回で失格となる。

☆ 競技

1. スターターの合図（号砲）により選手は競技サークル内に入り投球を開始する。
2. 投球方法は基本的に自由であるが、アンカーボールは99個のアジャタボールを全部入れた後でないと投球してはならない。
3. アンカーボールがバスケット内に着底した時点を競技終了とする。

